

SDGsプログラム実施レポート

No. 3「すべての人に健康と福祉を」

すべての人って？健康・福祉とは？

風邪をひいたら病院へ行き、薬をもらって安静に治す。日本では当たり前のことですが、世界では約36億人もの人々が、基本的な医療保険サービスを受けることが出来ない状態です。

毎日を安心して暮らすために、日本では当たり前にある【福祉】は世界の当たり前ではない。という現実を知り、子どもたち・指導員も、この問題に対して自分たちは何ができるのか？子どもたちと自分のこととして、考えました。

3 すべての人に健康と福祉を



子どもたちの感想・自分たちにできる事 子どもたちからの素敵なアイデア等

自分もみんなも健康でいるために毎日ちゃんと手を洗う

病院がないなら将来、病院を建てるお仕事をするよ！

ペットボトルのキャップが予防接種のワクチンになるなんて驚き。捨てないようにしよう。

当たり前を広げていくそんな人になりたい。

遅くまでゲームしないようにしよう...

将来お医者さんになるから病気になったら教えてね！

朝ごはんも給食も残さず食べよう！

指導員の気づき

「ふくし」とは【ふ】...ふだんの【く】...くらしを【し】...しあわせにということだ。と、以前受けた研修を思い出しました。

コロナ禍において、毎日子どもたちに【消毒・手洗い】を徹底するよう指導している。そのことが自らの健康を守るだけでなく周囲(みんな)の健康も守ることになるのだと、改めて実感した。